

期末評価用調書の修正箇所一覧

資料3

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
 共同利用・共同研究拠点等に関する作業部会（第13期-第12回）

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
1. 研究施設の状況		
1－1. 研究施設の概要等		
1-1-1. 研究施設の概要等		
1-1-2. 附属施設の概要	「現員数」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1-1-3. 中期目標・中期計画での位置付け（中期目標・中期計画別表を除く）	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1-1-4. 中核施設の概要等		
1-1-5. 構成機関		
1－2. 研究施設の組織等		
1-2-1. 教員数	・常勤「任期制導入状況」の「女性数」「外国人数」「若手数」を削除。 3項目削除にともない、「任期制導入状況」の小分類を削除。 ・非常勤「女性数」「外国人数」「若手数」を削除 ・職種ごとの常勤の小計欄を追加	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1-2-2. 人材の流動性		
1-2-3. 組織図		
1-2-4. 当該研究施設を記載している学則等	・学則等が掲載された大学HPのURL記載欄を追加 ・評価委員への送付は省略	
1-2-5. 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等		
1-2-6. その他、研究施設の特色ある取組（該当あれば）	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1－3. 研究施設の予算・決算・外部資金等		
1-3-1. 決算額		
1-3-2. 教員1人当たりの研究費		
1-3-3. 科学研究費助成事業等の採択状況	・「直接経費」「間接経費」を削除 ・1-3-3-①～⑤は入力用シートに移動し、1-3-3-⑥のみ評価委員に送付	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1-3-4. その他の外部資金受入状況		
1-3-4-①. 民間等との共同研究		
1-3-4-②. 受託研究		
1-3-4-③. 奨学寄附金		

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
1－4．研究施設の国際交流状況		
1-4-1．学術国際交流協定の状況	回答対象を国際拠点のみに変更	単独型拠点、NW型拠点については、認定の基準及び評価の観点に直接的に関連する項目ではないため
1-4-2．国際的な研究プロジェクトへの参加状況	回答対象を国際拠点のみに変更	単独型拠点、NW型拠点については、認定の基準及び評価の観点に直接的に関連する項目ではないため
1-4-3．国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況	回答対象を国際拠点のみに変更	単独型拠点、NW型拠点については、認定の基準及び評価の観点に直接的に関連する項目ではないため
1-4-4．有力な国際会議等での講演・発表・報告等の実施状況	回答対象を国際拠点のみに変更	単独型拠点、NW型拠点については、認定の基準及び評価の観点に直接的に関連する項目ではないため
1-4-5．研究者の海外派遣状況・外国人研究者の招へい状況（延べ人数）	「派遣先国」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
1-4-6．外国人研究者の受入や国際的な連携等を促進するための取組状況		
1-4-7．その他、国際研究協力活動の状況		
1－5．研究施設の教育活動・人材育成		
1-5-1．大学院生等の受入状況		
1-5-2．当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数		
1-5-3．留学生の受入状況		
1-5-4．その他、学部・研究科等との教育上の連携や協力の状況		

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2. 共同利用・共同研究拠点の状況		
2－1. 拠点の活動状況等		
2-1-1. 実施計画及び実施状況	「実施計画の達成難易度・挑戦性」の記入欄を追加	計画達成度の評価の参考情報として取り扱うため
2-1-2. 共同利用・共同研究拠点の運営体制		
2-1-2-①. 運営委員会等の開催実績		
2-1-2-②. 運営委員会等の所属者名等	「専門分野」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-1-2-③. 共同研究委員会等の所属者名等（委員会を設置している場合に記入）	「専門分野」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-1-3. 研究活動の不正行為並びに研究費の不正使用等に係る事前防止、事後処理及び再発防止への対応		
2-1-4. その他、拠点運営に係る特色ある取組（該当あれば）		
2－2. 共同利用・共同研究の実施状況		
2-2-1. 共同利用・共同研究による成果		
2-2-1-①. 共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果（特許を含む）		
2-2-1-②. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-1-③. 拠点における受賞状況	国際的な賞も含めて記入するように変更	「2-2-2-③. 拠点における国際的な賞の受賞状況」を削除するため
2-2-2. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な成果		
2-2-2-①. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果（特許を含む）	項目全体を削除	「2-2-1. 共同利用・共同研究による成果」と統合可能なため
2-2-2-②. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-2-③. 拠点における国際的な賞の受賞状況	項目全体を削除	「2-2-1. 共同利用・共同研究による成果」と統合可能なため

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2-2-3. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数		
○共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数		
2-2-3-①. 拠点に所属する者（大学院生を含む）のみの論文		
2-2-3-②. 拠点に所属する者と拠点以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文		
2-2-3-③. 拠点以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文		
2-2-3-④. 国内の研究機関（拠点を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文		
2-2-3-⑤. 国外の研究機関に所属する者のみの論文		
2-2-3-⑥. 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、インパクトファクター、掲載論文数、掲載された論文のうち主なものを記載してください。		
2-2-3-⑦. インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、主なものについて記載してください。		
2-2-3-⑧. 共同利用・共同研究による成果として発行した研究書		
2-2-3-⑨. 分野の特性に応じ、論文及び研究書以外に適切な評価指標について、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載してください（該当あれば）。		

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2 - 2 - 3 -⑩. その他、特色ある共同研究活動成果の実績（異分野融合・新分野創出の成果等を含む）についてアピールポイントを記載してください（該当あれば）。		
2 - 2 - 3 -⑪. 令和4年度以降の実績が含まれる、当該研究所等における被引用論文数の調査・分析を実施している場合は、当該調査の結果を分野ごとに記入し、Q値には、論文に占めるTOP10％補正論文数の割合を記入してください（該当あれば）。（調査実績がない場合は、「該当なし」と記入するものとし、あらためて調査を依頼する必要はありません。）		
2 - 2 - 3 -⑫. 上記における調査とは別の方法で実施した被引用論文数の調査・分析について、以下にその方法の概要を記入するとともに、調査・分析結果を示す資料を別添にて提出してください（該当あれば）。		
2 - 2 - 3 -⑬. 調査の結果、当該研究所等の研究者の論文のうち、被引用回数が当該研究分野の上位 1 0 ％以内にランクされた論文（TOP 1 0 論文数）がある場合は、直近のデータを分野ごとに記入してください。		
2 - 2 - 3 -⑭. 共同利用・共同研究者に対し、論文の謝辞についてどのように記述するよう求めているのか記載してください。	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2-2-4. 共同利用・共同研究の活動状況		
2-2-4-①. 共同利用・共同研究課題の採択状況・実施状況	「うち研究テーマ設定型」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-4-②. 共同利用・共同研究課題の概要	項目全体を削除	「2-2-1-①. 共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果（特許を含む）」と重複する項目のため
2-2-4-③. 新型コロナウイルス感染症の影響と代替案等の工夫	項目全体を削除	期末評価時点で考慮すべき新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と考えられるため
2-2-4-④. 共同利用・共同研究の参加状況	・「延べ人数」のうちの「外国人」「若手研究者」「大学院生」を削除 ・「新型コロナウイルス感染症の影響と代替案等の工夫」を削除	・評価用調書としては細分化され過ぎているため ・期末評価時点で考慮すべき新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と考えられるため
2-2-4-⑤. 共同利用・共同研究の募集に係る特色ある取組（公募や施設利用の募集等に関する情報発信を含む）	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-4-⑥. 共同利用・共同研究を通じた人材育成機能の強化		
2-2-4-⑦. 関連分野発展への取組（大型プロジェクトの発案・運営、ネットワークの構築、「共用」を含む研究設備の有効活用 等）	項目名称を「共用を行う施設（EPOCH等）との連携」に変更	
2-2-4-⑧. 多様な連携の取組（多様な研究機関等との連携の取組、産学連携や社会・地域との連携の取組等）		
2-2-4-⑨. 研究施設等を置く大学（法人）の機能強化・特色化に係る取組		

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2-2-5. 共同利用・共同研究に係る支援状況		
2-2-5-①. 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数		
2-2-5-②. 参加する研究者の支援のための特色ある取組（参加を促進するための取組、参加する研究者への支援の状況、参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況等）		
2-2-5-③. 拠点活動に対する全学的な支援の状況（人員、予算を含む）		
2-2-6. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況	項目全体を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-7. 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況		
2-2-7-①. 研究者を対象としたシンポジウム等の実施状況	「参加人数の算定方法」「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-2-7-②. 国際シンポジウム等への参加状況		
2-2-7-③. 研究者以外を対象としたシンポジウム等の実施状況		
2-2-7-④. 定期刊行物やホームページ、SNS等による一般社会に対する情報発信の取組		
2-2-7-⑤. 新型コロナウイルス感染症の影響と代替案等の工夫	項目全体を削除	期末評価時点で考慮すべき新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と考えられるため
2-2-8. 新型コロナウイルスの影響に伴う活動状況（該当あれば）		
2-2-8-①. 新型コロナウイルスの影響に伴う課題等に対する取組状況	項目全体を削除	期末評価時点で考慮すべき新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と考えられるため
2-2-8-②. その他、新型コロナウイルスによる影響と対応状況	項目全体を削除	期末評価時点で考慮すべき新型コロナウイルス感染症の影響は限定的と考えられるため

期末評価用調書の項目	修正内容	修正する理由
2－3．共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料及びデータ等の利用状況等		
2-3-①．施設、設備の利用状況等	・ 記載件数を最大10件から最大5件に変更 ・ 「○又は△を記入した施設・設備については、設置年月日、設置時の導入経費及び年間の運転経費 を以下に記載し、別紙「施設・設備の概要.ppt」を作成してください。」を削除	評価用調書としては細分化され過ぎているため
2-3-②．資料の利用・提供・整備状況		
2-3-③．データの作成・公開状況		
2－4．中間評価結果における総合評価又は認定に伴う留意事項への対応状況		
○中間評価結果における総合評価又は認定に伴う留意事項		
○対応状況		
2－5．組織再編に伴う拠点活動の状況【該当する拠点のみ】		
○届出がなされた拠点の組織整備の状況や拠点活動		
3．第5期中期目標期間の認定の希望の有無		
4．事務担当者連絡先		